

中国・四国ブロックのエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

平成26年に報告された全国のHIV感染者数は1,091件（前年1,106件），AIDS患者数は、455件（前年484件），両者を合わせた新規報告件数は1,546件（前年1,590件）であった。

中国・四国ブロック内のHIV感染者数は45件（前年55件），AIDS患者数は30件（前年31件），両者を合わせた新規報告件数は75件（前年86件）であった（図1，図2）。

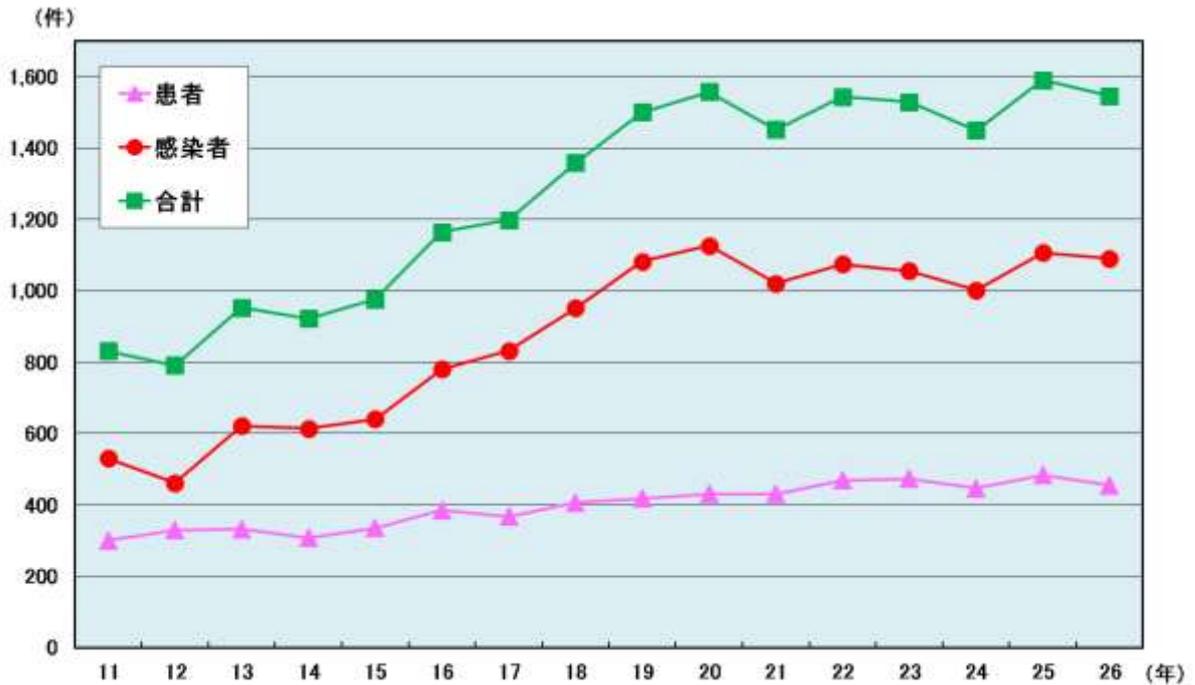


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

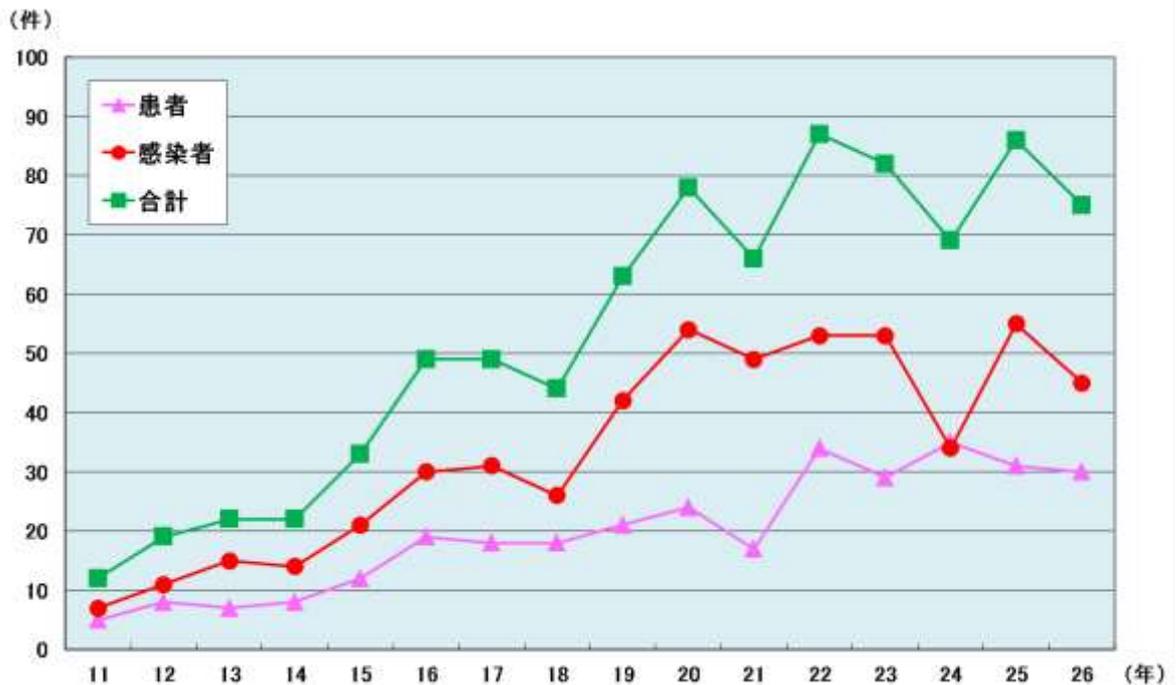


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 全国の HIV 感染者・AIDS 患者の感染経路別内訳（平成 26 年）

（1） HIV 感染者について

全国で平成 26 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 179 件(16.4%)、同性間の性的接触が 789 件(72.3%)で、性的接触によるものは合わせて 968 件(88.7%)を占めた（図 3）。

また、静注薬物使用が 3 件、母子感染は 1 件報告があった。

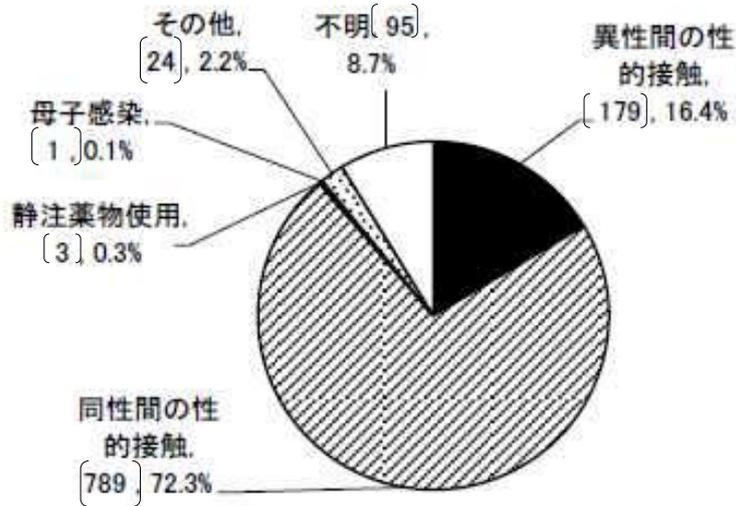


図 3 全国の HIV 感染者の感染経路別内訳(平成 26 年全国報告例)

（2） AIDS 患者について

全国で平成 26 年に報告された AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触による感染が 120 件(26.4%)、同性間の性的接触による感染が 258 件(56.7%)で、性的接触による感染は合わせて 378 件(83.1%)を占めた（図 4）。

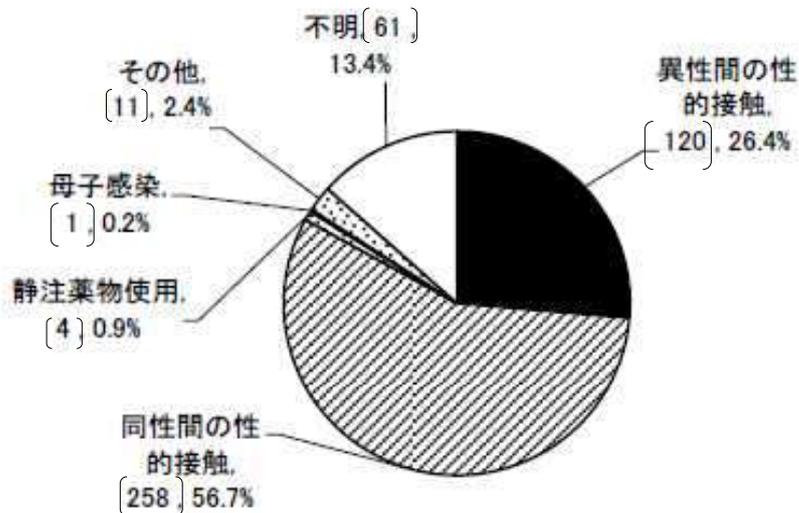


図 4 全国の AIDS 患者の感染経路別内訳(平成 26 年全国報告例)

3 中国・四国ブロックの都道府県別の報告数について（平成 26 年）

全国のHIV感染者・AIDS患者報告数の上位都道府県をみると（表1，表2），鳥取県が人口10万人当たりのAIDS患者報告数で6位となっている。

なお，中国・四国ブロック各県のHIV感染者・AIDS患者の人口10万対の累積報告数は，表3のとおりである。

HIV 感染者・AIDS 患者報告数上位 10 位の自治体

表 1 HIV 感染者上位自治体

自治体	報告数	自治体	人口 10 万対
1 東京都	410	1 東京都	3.083
2 大阪府	156	2 大阪府	1.763
3 神奈川県	68	3 沖縄県	1.625
4 愛知県	67	4 福岡県	0.904
5 福岡県	46	5 愛知県	0.900
6 千葉県	36	6 石川県	0.777
7 埼玉県	24	7 大分県	0.764
9 兵庫県	23	8 神奈川県	0.749
9 沖縄県	23	9 宮崎県	0.714
10 北海道	19	10 群馬県	0.706

表 2 AIDS 患者上位自治体

自治体	報告数	自治体	人口 10 万対
1 東京都	96	1 沖縄県	0.848
2 大阪府	53	2 福井県	0.755
3 愛知県	32	3 東京都	0.722
4 神奈川県	29	4 大阪府	0.599
5 福岡県	24	5 岐阜県	0.536
6 埼玉県	23	6 鳥取県	0.519
7 千葉県	21	7 栃木県	0.504
8 沖縄県	12	8 福岡県	0.472
9 茨城県	11	9 宮崎県	0.446
9 岐阜県	11	10 奈良県	0.434
9 兵庫県	11		

表 3 中国・四国ブロックの人口 10 万対の累積報告数

	HIV 感染者	AIDS 患者
鳥取県	2.249	2.422
島根県	2.422	0.997
岡山県	6.062	3.627
広島県	7.183	3.556
山口県	3.803	1.338
徳島県	3.766	2.597
香川県	5.076	3.756
愛媛県	4.911	3.559
高知県	4.564	2.550
中国・四国ブロック	5.160	2.963
全国	13.278	6.016

4 HIV 抗体検査及び相談

平成 26 年の中国・四国ブロックにおける HIV 抗体検査件数は 9,080 件（前年 8,851 件）とやや増加したが、相談件数は 11,846 件（前年 12,083 件）とやや減少した（図 5）。

また、平成 27 年第 1～3 四半期における HIV 抗体検査件数は 5,494 件（前年同時期 6,661 件）、相談件数は 7,225 件（前年同時期 8,833 件）と、いずれも前年同時期と比較し減少している（表 4、表 5）。

これらのことから、保健所等における無料・匿名の HIV 抗体検査及び相談の推進や普及啓発活動等、一層の取組が必要である。

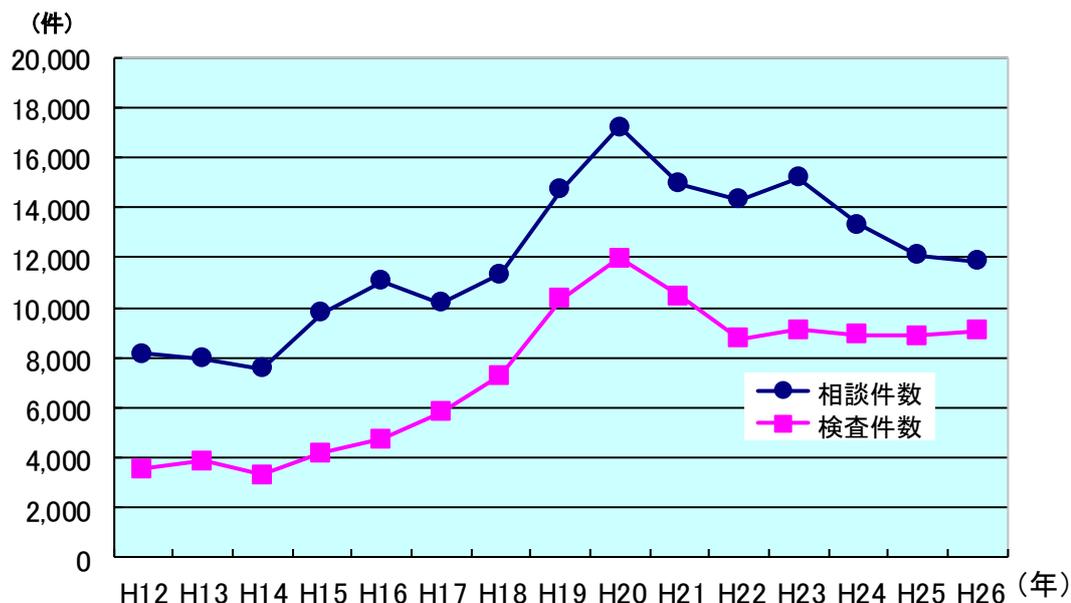


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次推移

表 4 中国・四国ブロック保健所等における HIV 抗体検査件数

	H26 年第 1～3 四半期	H27 年第 1～3 四半期
鳥取県	516	398
島根県	323	230
岡山県	873	734
広島県	1,841	1,576
山口県	788	646
徳島県	627	539
香川県	311	256
愛媛県	953	784
高知県	429	331
計	6,661	5,494

表 5 中国・四国ブロック保健所等における相談件数

	H26 年第 1～3 四半期	H27 年第 1～3 四半期
鳥取県	24	6
島根県	352	228
岡山県	1,471	1,318
広島県	3,977	3,346
山口県	638	491
徳島県	719	606
香川県	322	218
愛媛県	1,233	939
高知県	97	73
計	8,833	7,225

※第 1～3 四半期とは、1 月から 9 月のこと